

# 昭和41年度総会ならびに春季大会告示

1. 期日 5月18日(水), 19日(木), 20日(金)
2. 場所 東京大学(東京都文京区本郷7丁目)
3. 総会提出の議題募集
  - 1) 締切: 3月15日(火)
  - 2) 宛名: 東京都千代田区大手町 気象庁内 日本気象学会 封筒の表に「総会関係」と明記のこと。
  - 3) 内容: 議題名とともに必ず提案理由をつけること。
4. 研究発表募集
  - 1) 議演申込締切: 3月15日(火) 必着
  - 2) 申込先: 東京都千代田区大手町 気象庁予報部電計室気付 岸保勘三郎  
または東京都文京区大塚 東京教育大学理学部 吉野正敏
  - 3) 様式: 必ず所定の用紙に記入すること(天気本号挿入)。用紙不足の場合は事務局または支部に請求されたい。
  - 4) 講演時間: 討論時間3分を含めて15分以内(したがって研究発表は12分以内)
5. 予稿集刊行について
  - 1) 前回と同じ要領で予稿集を刊行します。予稿には必ず研究結果を記載すること。原則として予稿を提出しないものは講演できないことにしますから、講演申込者は必ず提出願います。なお講演申込者には予稿用紙を送りますから、送付先を明記して下さい。  
予稿提出先: 気象庁観測部測器課 竹内清秀  
期限: 4月10日(日) 必着 (以後に到着した場合は予稿集に掲載できませんから、郵送に要する時日を考慮して早目に投稿して下さい)。
  - 2) 予稿集の予約  
前回の大会から、必要部数を確保するため予約により印刷することにいたしました。趣旨が徹底せず、当日になって入手できない会員が多くありました。今回はこのようなことのないよう綴込の葉書で上記、竹内清秀宛必ず予約をして下さい。(予価200~300円)  
予約締切: 4月10日(日) 必着
6. 大会のスケジュールや研究発表会の会場の広さ等の詳細は本誌13巻3号でお知らせする予定です。

## 月例会のお知らせ

主題 長期予報

会期: 昭和41年2月24日(木) 9時30分—12時

会場: 気象庁第一会議室

座長: 柏原辰吉(札幌管区)

1. 沼田富雄(仙台管区): Blocking 時における東北地方夏期の異常高低温について(15分)(代読松倉)
2. 関根勇八(仙台管区): 1964年盛夏期後半の低温に関連した高緯度方面の高度場の変動について(15分)
3. 根山芳晴(広島地気): 成層圏循環と小笠原高気圧の季節変動との関係(15分)
4. 山本武夫(山口大): 200mb 高度の平均流による季節予想方法の拡張(15分)
5. 広瀬元孝(気研予): わが国における月平均気温の季節変化型について(15分)
6. 斎藤博英(国立雪害研究所): 北陸豪雪の長期の見通しについて(15分)
7. 根本順吉(気象庁): 太陽黒点数の予想(15分)
8. 佐藤和敏( // ): 気温相関場を用いた類似法による降水量予想(10分)

(航空気象シンポジウムは表紙3頁参照)